

令和4年度 中学生一日体験入学（オープンスクール）校長あいさつ

中学生の皆さん、おはようございます。

日南振徳高等学校・校長の山下です。夏休みの貴重な一日だと思いますが、この日南振徳高校へお越し頂き、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が拡大していますので、感染対策を取りながら、短時間でのオープンスクールとなります。物足りないところがあるかも知れませんが、お許してください。

さて、本校は、「日南」という地域から頂いた文字に、飢肥藩の藩校であった「振徳堂」から頂いた文字を組み合わせる学校名としています。本校は創立から14年目の新しい学校ですが、明治の外交官・小村寿太郎侯が学んだ藩校の名前が付けられる程、宮崎県民から大きな期待がかかっています。

ところで、本日は、パンフレットやホームページではわかりづらい校内の雰囲気を感じて欲しいと思い、企画しました。本校は専門高校ですので教科書の理解だけではなく、技術の習得や資格取得も大事にしています。「自ら学び、自ら向上しようとする態度」、「清らかで、創造性豊かな心」、「困難を乗り越えようと努力する姿勢」をさらに高め、高校卒業後は地域の活性化に貢献できる産業人になることを期待されています。

本校の卒業生には、県内外の有名な企業へ就職した先輩が多数います。また、公務員となって地元を支える社会人として活躍している先輩もいます。さらに、高度な知識や技術を身に付けるために、大学や専門学校へ進学した先輩もいます。

どの先輩方も、高校入学後の3年間、勉強・部活動・資格取得・ボランティア活動等に全力で取り組みました。高校は入学するだけで自然と力が身につくのではなく、目標達成のための努力が必要です。今は、勉強に力が入っていない人がいるかも知れませんが、今日からしっかりと勉強し、思ったように学力が伸びなかったとしても、勉強する習慣だけは身に付けて高校へ進学してほしいと思います。

「高校は遊べる場所」と勘違いして入学してくると、「高校生活を送る価値」や「高校生であることの有り難み」を感じられなくなり、最悪の場合、脇道に逸れて退学してしまうことにもなりかねません。

もちろん、中学生の時は成績が振るわなかった人が、やる気と行動力を身に付けて高校へ入学し、高校卒業と同時に大きな夢を叶えることもあります。

日南振徳高校は、やる気と行動力があれば、あとは先生方がしっかりとサポートします。どういう先生が教えていて、どういう先輩が学んでいるのかも見てほしいと思います。

わからないことは遠慮なく質問してください。暑くなりますので、体調には気をつけてください。困ったことがあれば、気軽に近くの先生、生徒へ申しつけてください。以上で、あいさつを終わります。

令和4年7月28日
宮崎県立日南振徳高等学校
校長 山下 勉